بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 16 巻

ターリク・ブン・ズィヤード

ジャバル・ターリクから開かれたアンダルス — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱصۡبِرُواْ وَصَابِرُواْ وَرَابِطُواْ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَ لَعَلَّكُمۡ تُفۡلِحُونَ ٢٠٠

「あなたがた信仰する者よ，耐え忍びなさい。忍耐に極めて強く，互いに堅固でありなさい。そしてアッラーを畏れなさい。そうすればあなたがたは成功するであろう。」

イムラーン家章 3:200

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

人を家柄ではなく敬虔さによって尊ばれるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけアンダルスを開いたターリク・ブン・ズィヤードに祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 16 巻は、ターリク・ブン・ズィヤードの生涯を語ります。ヒジュラ暦 92 年に海峡を渡り、今日ジブラルタルとして知られる丘に上陸し、ワーディー・ラッカでロデリックの軍を破ってアンダルスへの道を開いた、ムーサー・ブン・ヌサイルのベルベル人のマウラー（解放奴隷）です。その物語は、確かでない有名な話も含めて、典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは日の出の***ジャバル・ターリク（ジブラルタルの岩）***——ターリク・ブン・ズィヤードの名を冠した大きな石灰岩の丘——と、朝霧のかかる静かな海峡です。

中央には、岸の近くに停泊する数隻の***木造の帆船***があります。ヒジュラ暦 92 年のターリク軍のアフリカからの渡海を思い起こさせます。船が無傷で描かれているのは、ターリクが船を焼いたという話が初期の典拠で確かめられないためです（第 6 章参照）。

手前には、岸辺の岩の上に***鞘に収めた剣***と***丸い盾***が置かれています。ワーディー・ラッカの戦いを前にした備えの象徴です。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 15 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

ターリク・ブン・ズィヤード 5
1. ターリク・ブン・ズィヤードとは誰か 6
2. ベルベル人、そしてマウラー 7
3. ムーサー・ブン・ヌサイルのもとで 9
4. ユリアヌス、タリーフ、そしてアンダルスへの門 10
5. 海峡を渡る 11
6. 船を焼いた話——事実と作り話のあいだ 12
7. 「海は背後に」の演説 13
8. 戦いの前に——敵との遭遇を望んではならない 14
9. ワーディー・ラッカの戦い 16
10. 戦いの作法と和平条約 18
11. コルドバ、トレド、そしてアンダルスの町々 20
12. ムーサー・ブン・ヌサイルの渡海 21
13. ソロモンの食卓と戦利品の預かりもの 22
14. ダマスカスへの召還 24
15. 知られざる最期 26
16. ターリクの遺産——八世紀のアンダルス 28
17. ターリクの物語の典拠 29
18. 人物・場所・年表 30
19. ターリクについてのよくある質問 32
20. 教訓と結び 34
参考文献 35
支援と寄付 36

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

ターリク・ブン・ズィヤード

今日のスペインの南端に、ヨーロッパとアフリカを隔てる海峡に面して、大きな石灰岩の丘がそびえています。世界はこれを***ジブラルタル***と呼びます。アラビア語の***ジャバル・ターリク***、すなわち「ターリクの丘」に由来する名です。この名は、ヒジュラ暦92年（西暦711年）にそこへ上陸したムスリムの指揮官、***ターリク・ブン・ズィヤード***を記念しています。

彼は総督ムーサー・ブン・ヌサイルの**マウラー**（解放奴隷）で、多くの歴史家によれば、わずか数十年前にイスラームに入った***ベルベル人***の出身でした。およそ七千の兵とともに海峡を渡り、ワーディー・ラッカでロデリック王の軍を破り、その後約八世紀にわたってヨーロッパにおけるイスラーム文明の中心となる***アンダルス***への道を開きました。

この電子書籍は『***イスラームの英雄***』シリーズの第 16 巻です。ターリクの物語はとても有名ですが、その多く――船を焼いた話や「海は背後に」という演説を含めて――は、何世紀も後に書かれた書物に由来します。そのため、すべての物語の典拠と等級を正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

ターリクの物語は、イスラームによって尊ばれた人の物語です。見下されていた民の出から一つの大陸を開く指揮官となり――そして多くの誠実なアッラーのしもべと同じように、静かに、ほとんど知られることなく生涯を終えました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ターリク・ブン・ズィヤードとは誰か

彼の名は*ターリク・ブン・ズィヤード*です。その出自について歴史書の見解は分かれています。イブン・イザーリーやイブン・ハルドゥーンを含む多くの典拠によれば、彼はマグリブのナフザ族の*ベルベル人*でした。ハマダーン出身のペルシア系とする伝承や、アラブのサディフ族に結びつける伝承もあります。最も広く知られた見解は、ベルベル人であるというものです。

一致しているのは、彼がイフリーキヤ総督ムーサー・ブン・ヌサイルの**マウラー**だったということです。生年は不明で、没年も確かではなく、ヒジュラ暦102年（西暦720年）ごろとされます。

名前と称号

名前・称号	説明
ターリク・ブン・ズィヤード	本名
ムーサー・ブン・ヌサイルのマウラー	イフリーキヤ総督によって解放された奴隷
アル＝バルバリー	最も広く知られた見解ではベルベル人の出身
ファーティフ・アル＝アンダルス	アンダルス（イベリア半島）を開いた人
ジャバル・ターリク	彼の名を冠した丘、今日のジブラルタル

教訓

歴史はターリクの生年を残しませんでしたが、毎日何百万もの人が口にする丘にその名を残しました。残るのは家柄ではなく、行いです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ベルベル人、そしてマウラー

ベルベル人は、ターリクの時代のわずか数十年前、ウクバ・ブン・ナーフィウとその後の指導者たちの宣教によってイスラームに入りました（第 15 巻参照）。しかしイスラームは、人を家柄や肌の色で判断しません。

部屋章 49:13

يَٰٓأَيُّهَا ٱلنَّاسُ إِنَّا خَلَقۡنَٰكُم مِّن ذَكَرٖ وَأُنثَىٰ وَجَعَلۡنَٰكُمۡ شُعُوبٗا وَقَبَآئِلَ لِتَعَارَفُوٓاْۚ إِنَّ أَكۡرَمَكُمۡ عِندَ ٱللَّهِ أَتۡقَىٰكُمۡۚ إِنَّ ٱللَّهَ عَلِيمٌ خَبِيرٞ ١٣

人びとよ，われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り，種族と部族に分けた。これはあなたがたを，互いに知り合うようにさせるためである。アッラーの御許で最も貴い者は，あなたがたの中最も主を畏れる者である。本当にアッラーは，全知にして凡ゆることに通暁なされる 。

訳：三田了一 — quran.com/49:13

アッラーの使徒 ﷺ もまた、指導者の資格は生まれの身分で決まらないと教えられました。解放奴隷も指導者となり得、善いことにおいては従わなければなりません。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 7142 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا يَحْيَى، عَنْ شُعْبَةَ، عَنْ أَبِي التَّيَّاحِ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " اسْمَعُوا وَأَطِيعُوا وَإِنِ اسْتُعْمِلَ عَلَيْكُمْ عَبْدٌ حَبَشِيٌّ كَأَنَّ رَأْسَهُ زَبِيبَةٌ ".

訳：

アナス・ブン・マーリクによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。 *「たとえ頭が干しぶどうのようなアビシニア人の奴隷があなたがたの上に任じられても、聞き従いなさい。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド ← ヤフヤー・ブン・サイード・アル＝カッターン ← シュウバ ← アブー・アッ＝タイヤーフ ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』裁きの書、第 7142 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:7142

ターリクとともに海を渡った軍の大部分はベルベル人で、ベルベル人によって率いられていました。イスラームが、呼びかけられる側だった民を、どれほど早く呼びかける側へと高めたかがわかります。

教訓

アッラーの御許での尊さは敬虔さにあります。イスラームに入ったばかりの民のマウラーも、ふさわしければ最も大きな責任を担うことができます。

ムーサー・ブン・ヌサイルのもとで

歴史の注：タンジャの総督

ヒジュラ暦86年ごろ、***ムーサー・ブン・ヌサイル***はウマイヤ朝カリフによってイフリーキヤ総督に任じられました。彼は大西洋に至るまでマグリブの征服を続け、多くのベルベル人の部族がイスラームに入りました。***タンジャ***（タンジール）の町が開かれた後、ムーサーはターリク・ブン・ズィヤードを、主にベルベル人からなる軍とともにその総督に任じました。ムーサーはまた、彼らにクルアーンとイスラームの規定を教える教師たちを送りました。

伝承の等級：アンダルス征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』；イブン・アル＝アスィール『完史』。

タンジャはアフリカの北端にあり、海峡の向こうのスペインの海岸からわずか約14キロメートルです。ターリクはそこから北を見つめていました。

教訓

良い指導者は指導者を育てます。ムーサー・ブン・ヌサイルは権限を独り占めせず、能力の証明されたマウラーに託しました。

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

ユリアヌス、タリーフ、そしてアンダルスへの門

歴史の注：海峡の向こうからの招き

当時イベリア半島は、分裂に揺れる*西ゴート*王国が治めていました。*ロデリック*（ルズリーク）が王位を奪い、先王ウィティザの一族がこれに反対していました。セウタ（サブタ）の領主*ユリアヌス*（ユルヤーン）はロデリックと対立し、ムスリムに自分の船を提供しました。

大軍を送る前に、ムーサー・ブン・ヌサイルはカリフ、ワリード・ブン・アブドゥルマリクの許可を求め、ヒジュラ暦 91 年に*タリーフ・ブン・マーリク*率いる約 400 人の小さな偵察隊を送りました。彼らは後にその名にちなんで呼ばれる小島――今日の*タリファ*――に上陸し、無事に戻りました。

*伝承の等級：*ユリアヌスの役割とタリーフの偵察は初期の典拠に伝えられています。しかし、ロデリックが娘を辱めたためにユリアヌスが復讐したという話は後に現れたもので、伝説と混じっており、確かめることはできません。

参照：
イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

教訓

勇気の前に知恵を。ムスリムは急がず、カリフの許可を求め、まず偵察し、それから進みました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

海峡を渡る

歴史の注：ジャバル・ターリクへの上陸

ヒジュラ暦 92 年ラジャブ月（西暦 711 年 4 月）、ターリク・ブン・ズィヤードは主にベルベル人からなる約 ***7,000*** の兵とともに、往復する船で海峡を渡りました。彼は後に***ジャバル・ターリク***——ジブラルタル——と呼ばれる岩山のふもとに上陸しました。その後ムーサーはさらに ***5,000*** の援軍を送り、ターリクの軍は約 ***12,000*** となりました。

伝承の等級： ヒジュラ暦 92 年のターリクの渡海とジャバル・ターリクへの上陸は、歴史家の間で一致しています。兵の数は典拠によって多少異なります。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝クーティーヤ『アンダルス征服史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

海を越えて未知の地へ向かうには、アッラーが命じられた忍耐と堅固さが必要です。

イムラーン家章 3:200

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ ٱصۡبِرُواْ وَصَابِرُواْ وَرَابِطُواْ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَ لَعَلَّكُمۡ تُفۡلِحُونَ

٢٠٠

あなたがた信仰する者よ，耐え忍びなさい。忍耐に極めて強く，互いに堅固でありなさい。そしてアッラーを畏れなさい。そうすればあなたがたは成功するであろう。

訳：三田了一 — quran.com/3:200

教訓

どんな大きな旅も、一つの勇気ある一歩から始まります。ターリクが足を踏み入れた丘は、今もその名を伝えています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

船を焼いた話——事実と作り話のあいだ

ターリクについて最も有名な話は、上陸後、軍が退却できないように船を焼いたというものです。この話は講演や自己啓発書でよく繰り返されます。

典拠の注：この話はどこから来たのか

船を焼いた話は、イブン・アブドゥルハカム（ヒジュラ暦 3 世紀）やイブン・アル＝クーティーヤなど、アンダルス征服に関する初期の典拠には***見当たりません***。出来事からおよそ四世紀後に書かれた著作に現れます。

多くの現代の歴史家はこの話を疑っています。その理由として、初期の典拠は船がユリアヌスのもので、援軍を運ぶために往復したと述べていること、またアフリカからの補給と援軍を必要とする軍が唯一の連絡手段を壊すのは理にかなわないことが挙げられます。

伝承の等級： 弱く、確かではありません。この話は初期の典拠に見当たらず、事実として語るべきではありません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝クーティーヤ『アンダルス征服史』；アンダルス征服に関する現代の歴史研究。

教訓

イスラームの英雄を称えるのに作り話は要りません。確かなターリクの物語——12,000 の兵でアンダルスを開いたベルベル人のマウラー——だけで十分に驚くべきものです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「海は背後に」の演説

典拠の注：有名な演説

伝えられるところでは、ターリクは戦いの前にこう語りました。 ***「人々よ、逃げ場はどこにあるか。海はあなたがたの背後に、敵は前にある。アッラーにかけて、あなたがたには誠実と忍耐しか残されていない……」***

この演説は、はるか後の書物、とくに出来事からほぼ九世紀後のマッカリー（ヒジュラ暦 11 世紀／西暦 17 世紀）の『***ナフフ・アッ＝ティーブ***』に収められています。初期の典拠には見当たりません。多くの研究者はまた、その非常に洗練された文学的な文体が、戦場のベルベル人指揮官の言葉というより、後の文人の作に似ていると指摘しています。

伝承の等級：信頼できる伝承経路では確かめられません。ターリクの確かな言葉としてではなく、有名な文学的伝承として紹介することはできます。

参照：

マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』；アンダルス征服の典拠に関する歴史研究。

その言葉は確かではなくても、その意味――敵を前にしての忍耐と堅固さ――は、次の章にあるように、まさしくアッラーの使徒 ﷺ が教えられたものです。

教訓

確かな歴史と文学的な創作を区別することは、英雄をおとしめることではなく、真実を尊ぶことです。

戦いの前に――敵との遭遇を望んではならない

イスラームは信徒に戦いを愛することを教えません。アッラーの使徒 ﷺ は、敵と遭遇する前の作法を教えられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1742 番

وَحَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ رَافِعٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، أَخْبَرَنَا ابْنُ جُرَيْجٍ، أَخْبَرَنِي مُوسَى، بْنُ عُقْبَةَ عَنْ أَبِي النَّضْرِ، عَنْ كِتَابٍ، رَجُلٍ مِنْ أَسْلَمَ مِنْ أَصْحَابِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم يُقَالُ لَهُ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أَبِي أَوْفَى فَكَتَبَ إِلَى عُمَرَ بْنِ عُبَيْدِ اللَّهِ حِينَ سَارَ إِلَى الْحَرُورِيَّةِ يُخْبِرُهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم كَانَ فِي بَعْضِ أَيَّامِهِ الَّتِي لَقِيَ فِيهَا الْعَدُوَّ يَنْتَظِرُ حَتَّى إِذَا مَالَتِ الشَّمْسُ قَامَ فِيهِمْ فَقَالَ " يَا أَيُّهَا النَّاسُ لاَ تَتَمَنَّوْا لِقَاءَ الْعَدُوِّ وَاسْأَلُوا اللَّهَ الْعَافِيَةَ فَإِذَا لَقِيتُمُوهُمْ فَاصْبِرُوا وَاعْلَمُوا أَنَّ الْجَنَّةَ تَحْتَ ظِلاَلِ السُّيُوفِ " .

訳：

アブドゥッラー・ブン・アビー・アウファーの手紙より：アッラーの使徒 ﷺ は敵と遭遇したある日、太陽が南中を過ぎるまで待ち、それから人々の中に立ってこう言われました。*「人々よ、敵との遭遇を望んではならない。アッラーに平安を求めなさい。しかし敵と遭遇したなら、忍耐しなさい。そして楽園は剣の陰の下にあることを知りなさい。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・ブン・ラーフィウ ← アブドゥッラッザーク ← イブン・ジュライジ ← ムーサー・ブン・ウクバ ← アブー・アン＝ナドル・サーリム ← アブドゥッラー・ブン・アビー・アウファー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』ジハードと遠征の書、第 1742 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:1742a

そしてアッラーは、敵の軍勢と遭遇したときの堅固さと唱念を命じられます。

戦利品章 8:45

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ إِذَا لَقِيتُمۡ فِئَةٗ فَٱثۡبُتُواْ وَٱذۡكُرُواْ ٱللَّهَ كَثِيرٗا لَّعَلَّكُمۡ تُفۡلِحُونَ ٤٥

あなたがた信仰する者よ，（敵の）軍勢と遭遇する時は堅固に持して，専らアッラーを唱念せよ。恐らくあなたがたは勝利を得るであろう。

訳：三田了一 — quran.com/8:45

教訓

信者は戦いを求めませんが、戦いが来れば逃げません。忍耐、堅固さ、アッラーの唱念は、剣にまさる武器です。

ワーディー・ラッカの戦い

歴史の注：ヒジュラ暦 92 年ラマダーン月

ロデリック王ははるかに大きな軍を集めました。アラビア語の典拠は非常に大きな数字を挙げますが、現代の歴史家はもっと小さく見積もっています。両軍はアンダルス南部の ***ワーディー・ラッカ***（グアダレーテ）で、***ヒジュラ暦 92 年ラマダーン月***（西暦 711 年 7 月）に相まみえました。戦いは数日続きました。

ウィティザ一族を支持する一部の西ゴートの指導者たちが、戦いの最中にロデリックを見捨てました。ロデリックの軍は敗れ、ロデリック自身は姿を消しました。多くの典拠は彼が殺されたとしています。この勝利によって、アンダルスの門がムスリムに開かれました。

伝承の等級： ヒジュラ暦 92 年のワーディー・ラッカの戦いと勝利は歴史家の間で一致しています。数や詳細は典拠によって異なります。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝クーティーヤ『アンダルス征服史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クルアーンは、タールート（サウル）の少数の軍がジャールート（ゴリアテ）の大軍を破った話を語ります。

雌牛章 2:249

فَلَمَّا فَصَلَ طَالُوتُ بِٱلْجُنُودِ قَالَ إِنَّ ٱللَّهَ مُبْتَلِيكُم بِنَهَرٍ فَمَن شَرِبَ مِنْهُ
فَلَيْسَ مِنِّي وَمَن لَّمْ يَطْعَمْهُ فَإِنَّهُۥ مِنِّيٓ إِلَّا مَنِ ٱغْتَرَفَ غُرْفَةًۢ بِيَدِهِۦ ۚ فَشَرِبُوا۟
مِنْهُ إِلَّا قَلِيلًا مِّنْهُمْ ۚ فَلَمَّا جَاوَزَهُۥ هُوَ وَٱلَّذِينَ ءَامَنُوا۟ مَعَهُۥ قَالُوا۟ لَا طَاقَةَ لَنَا
ٱلْيَوْمَ بِجَالُوتَ وَجُنُودِهِۦ ۚ قَالَ ٱلَّذِينَ يَظُنُّونَ أَنَّهُم مُّلَٰقُوا۟ ٱللَّهِ كَم مِّن فِئَةٍ
قَلِيلَةٍ غَلَبَتْ فِئَةً كَثِيرَةًۢ بِإِذْنِ ٱللَّهِ ۗ وَٱللَّهُ مَعَ ٱلصَّٰبِرِينَ ﴿٢٤٩﴾

タールートが軍を率いて出征する時，かれは言った。「本当にアッラーは，川であなたがたを試みられる。誰でも川の水を飲む者は，わが民ではない。だがそれを味わおうとしない者は，きっとわが民である。只手のひらで，一すくいするだけは別だ。」だが少数の者の外，かれらはそれを飲んだ。かれ（タールート）およびかれと信仰を共にする者が渡った時，かれらは，「わたしたちは今日ジャールート（ゴリアテ）とその軍勢に敵対する力はない。」と言った。だがアッラーに会うことを自覚する者たちは言った。「アッラーの御許しのもとに，幾度か少い兵力で大軍にうち勝ったではないか。アッラーは耐え忍ぶ者と共にいられる。」

訳：三田了一 — quran.com/2:249

教訓

「どれほど多くの少数の軍勢が、アッラーのお許しによって多数の軍勢に打ち勝ったことか。」勝利は数にではなく、忍耐する者へのアッラーの助けにあります。

戦いの作法と和平条約

ワーディー・ラッカの後、アンダルスの多くの町は和平条約によって降伏しました。住民はジズヤを納めることで、信仰と教会と財産を保つことを許されました。そうした条約の一つの本文が今も残っています。ムーサー・ブン・ヌサイルの子アブドゥルアズィーズとキリスト教徒の指導者テオドミールとの間の***トゥドミール条約***（ヒジュラ暦 94 年）で、住民の安全、信仰、教会を保証しました。

この作法は、戦いにおけるアッラーの使徒 ﷺ の教えに由来します。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3015 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، قَالَ قُلْتُ لأَبِي أُسَامَةَ حَدَّثَكُمْ عُبَيْدُ اللَّهِ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ وُجِدَتِ امْرَأَةٌ مَقْتُولَةً فِي بَعْضِ مَغَازِي رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، فَنَهَى رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَنْ قَتْلِ النِّسَاءِ وَالصِّبْيَانِ.

訳：

イブン・ウマルは言いました。アッラーの使徒 ﷺ のある遠征で、一人の女性が殺されているのが見つかりました。***そこでアッラーの使徒 ﷺ は、女性と子どもを殺すことを禁じられました。***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← アブー・ウサーマ ← ウバイドゥッラー・ブン・ウマル ← ナーフィウ ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、戦いにおいて女性を殺すことの章、第 3015 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3015

教訓

イスラームのジハードには作法と限度があります。戦わない者は守られ、敵との約束は守られます。それこそが、アンダルスの多くの人々がムスリムの統治を平和に受け入れた理由です。

コルドバ、トレド、そしてアンダルスの町々

歴史の注：首都への進軍

ワーディー・ラッカの勝利の後も、ターリクは止まりませんでした。彼は軍を分け、*ムギース・アッ＝ルーミー*率いる部隊が*クルトゥバ*（コルドバ）を開き、他の部隊がマラガとグラナダへ向かい、ターリク自身は西ゴートの首都*トゥライトゥラ*（トレド）へ進み、ヒジュラ暦92年の末にこれを開きました。いくつかの町では、西ゴート王国に虐げられていたユダヤ教徒がムスリムを助けました。

伝承の等級：アンダルス征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』；マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』。

教訓

勝利の後には、素早く秩序ある行動が続かなければなりません。ターリクは、敵が再び結束する前に好機をとらえました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムーサー・ブン・ヌサイルの渡海

歴史の注：総督の叱責

ヒジュラ暦 93 年、ムーサー・ブン・ヌサイル自身が主にアラブ人からなる約 18,000 の兵とともにアンダルスへ渡りました。彼はターリクが通らなかったセビリャとメリダを開きました。歴史書によれば、ターリクが当初の命令をはるかに越えて進軍したことにムーサーは怒り、二人が会ったときに彼を叱責し、罰したといいます。その後二人は和解し、ともに北へ、サラゴサまで征服を続けました。

伝承の等級： アンダルス征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

ムーサーの怒りの理由について、歴史家の見解は分かれます。遠くまで進みすぎた軍の安全への懸念を挙げる者もいれば、大きな成功が部下の手で成し遂げられたことへの人間的な感情を挙げる者もいます。私たちは彼らの心の内を知りません。

教訓

意見の対立の後、二人の指導者は再びイスラームのために協力しました。ウンマの利益は個人の感情よりも大きいのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ソロモンの食卓と戦利品の預かりもの

歴史の注：脚が一本欠けた食卓

トレドでムスリムは、金と宝石で飾られた貴重な卓を見つけました。アンダルスの人々はこれを*「ソロモンの食卓」*と呼んでいました。ターリクはその脚の一本を外して保管したと伝えられます。ムーサーとターリクがダマスカスに呼ばれたとき、ムーサーはその卓を自分の戦利品としてカリフに献上しました。カリフが欠けた脚について尋ねると、ターリクはその脚を取り出し、それを見つけたのが自分であることを証明しました。

伝承の等級： 最も初期の典拠の一つであるイブン・アブドゥルハカムが伝えていますが、真正な伝承経路はなく、詳細も異なります。この卓を預言者スライマーン（ソロモン）عَلَيْهِ السَّلَامُ に帰するのは、地元の人々の主張にすぎません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』。

この話は、戦利品という預かりものがいかに重いかを思い起こさせます。アッラーの使徒 ﷺ は、どんなにわずかでも横領に厳しく警告されました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3074 番

حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنْ عَمْرٍو، عَنْ سَالِمِ بْنِ أَبِي الْجَعْدِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو، قَالَ كَانَ عَلَى ثَقَلِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم رَجُلٌ يُقَالُ لَهُ كِرْكِرَةُ فَمَاتَ، فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " هُوَ فِي النَّارِ ". فَذَهَبُوا يَنْظُرُونَ إِلَيْهِ فَوَجَدُوا عَبَاءَةً قَدْ غَلَّهَا.

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルは言いました。預言者 ﷺ の荷物の番をしていたキルキラという男が亡くなりました。アッラーの使徒 ﷺ は *「彼は火獄にいる」* と言われました。人々が彼の持ち物を見に行くと、彼が（戦利品から）盗んだ外套が一枚見つかりました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アリー・ブン・アブドゥッラー・アル＝マディーニー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← アムル・ブン・ディーナール ← サーリム・ブン・アビー・アル＝ジャアド ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、戦利品のわずかな横領の章、第 3074 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3074

教訓

戦利品はウンマのものであり、指揮官個人のものではありません。外套一枚でも火獄に導くことがあるのですから、まして王の財宝ならなおさらです。

ダマスカスへの召還

歴史の注：征服が終わらぬうちの服従

ヒジュラ暦95年、アンダルス北部でまだ征服が続くなか、カリフ、ワリード・ブン・アブドゥルマリクはムーサーとターリクをダマスカスに呼び戻しました。二人とも従ってアンダルスを去りました。ムーサーは息子アブドゥルアズィーズを総督に任じました。彼らが到着したとき、ワリードは重い病にあり、やがて亡くなり、弟のスライマーン・ブン・アブドゥルマリクがカリフとなりました。ムーサーはその後、新しいカリフの怒りを買い、罰金を科されました。

伝承の等級： アンダルス征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

罪でないことにおいて指導者に従うことは、好むと好まざるとにかかわらず、アッラーの使徒 ﷺ の教えです。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 7144 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ، عَنْ عُبَيْدِ اللَّهِ، حَدَّثَنِي نَافِعٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " السَّمْعُ وَالطَّاعَةُ عَلَى الْمَرْءِ الْمُسْلِمِ، فِيمَا أَحَبَّ وَكَرِهَ، مَا لَمْ يُؤْمَرْ بِمَعْصِيَةٍ، فَإِذَا أُمِرَ بِمَعْصِيَةٍ فَلاَ سَمْعَ وَلاَ طَاعَةَ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルによると、預言者 ﷺ はこう言われました。 ***「聞き従うことはムスリムの務めである。好むことにおいても、嫌うことにおいても。ただし罪を命じられない限りである。罪を命じられたなら、聞くことも従うこともない。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド ← ヤフヤー・ブン・サイード・アル＝カッターン ← ウバイドゥッラー・ブン・ウマル ← ナーフィウ ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』裁きの書、第 7144 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:7144

教訓

一つの大陸を開いた指揮官も、呼び戻されれば従いました。英雄の偉大さは、命じられたときに退く用意があることにもあります。

知られざる最期

歴史の注：記録から消えて

ダマスカスに着いて以後、ターリクについての知らせは歴史書からほとんど消えてしまいます。どんな役職にあったのかも知られず、没年と没地も確かではありません。ヒジュラ暦 102 年（西暦 720 年）ごろに亡くなったとされます。アンダルスを開いた指揮官は、残りの生涯を名声なく過ごしました。

伝承の等級： ターリクの生涯の最期は確かには知られておらず、典拠は推定を示すのみです。

参照：

イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』；マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』；ズィリクリー『アアラーム（人名辞典）』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

しかしアッラーの御許での位は、人々の間の名声で量られるものではありません。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2622 番

حَدَّثَنِي سُوَيْدُ بْنُ سَعِيدٍ، حَدَّثَنِي حَفْصُ بْنُ مَيْسَرَةَ، عَنِ الْعَلاَءِ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " رُبَّ أَشْعَثَ مَدْفُوعٍ بِالأَبْوَابِ لَوْ أَقْسَمَ عَلَى اللَّهِ لأَبَرَّهُ " .

訳：

アブー・フライラによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「髪は乱れ、戸口から追い払われる者の中にも、もしアッラーにかけて誓えば、アッラーがその誓いを果たされる者が多くいる。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：スワイド・ブン・サイード ← ハフス・ブン・マイサラ ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書、第 2622 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:2622

教訓

この世の名声は消えても、誠実な行いはアッラーの御許で決して失われません。ターリクは、真の英雄が歴史のためではなくアッラーのために働くことの手本です。

ターリクの遺産——八世紀のアンダルス

ターリクが始めた征服から*アンダルス*が生まれ、西暦 1492 年のグラナダ陥落まで、約八世紀にわたってムスリムの統治が続きました。コルドバは大モスクや図書館、イブン・アブドゥルバッル、イブン・ハズム、クルトゥビー、イブン・ルシュドといった学者たちを擁する、世界で最大かつ最も進んだ都市の一つとなりました。哲学、医学、数学もまたアンダルスからヨーロッパへと流れていきました。

ターリクの資質と人柄

資質	彼の物語からの例
勇敢で決断力がある	未知の地へ海峡を渡ったこと
賢明な戦略家	ワーディー・ラッカの後に軍を分けたこと
好機を素早くとらえる	敵が結束する前にトレドへ進んだこと
指導者に従順	呼び戻されるとダマスカスへ帰ったこと
預かりものを守る	ソロモンの食卓の脚の話
謙虚	残りの生涯を名声なく過ごしたこと

教訓

一人の人が、何世紀も益の続くことを始めることができます。アンダルスのすべての学者は、ターリクの最初の一歩に少しずつ負っているのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ターリクの物語の典拠

この表は各物語の典拠と等級をまとめたもので、読者が真正なものと単に有名なものとを区別できるようにしています。

物語	典拠	等級
ベルベル人の出自とムーサーのマウラー	イブン・イザーリー；イブン・ハルドゥーン	最も広く知られた見解
奴隷出身の指導者への服従	『サヒーフ・ブハーリー』7142	サヒーフ
タリーフ・ブン・マーリクの偵察（91年）	イブン・アブドゥルハカム	歴史
ユリアヌスの娘	後代の典拠	伝説が混在
ジャバル・ターリクでの渡海（92年）	歴史書	一致した事実
船を焼いた話	はるか後代の典拠	確かではない
「海は背後に」の演説	マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』	確かではない
敵との遭遇を望んではならない	『サヒーフ・ムスリム』1742	サヒーフ
ワーディー・ラッカの戦い	歴史書	一致した事実
女性と子どもを殺すことの禁止	『サヒーフ・ブハーリー』3015	サヒーフ
ソロモンの食卓	イブン・アブドゥルハカム	歴史、詳細に相違
横領への警告	『サヒーフ・ブハーリー』3074	サヒーフ
好むことにも嫌うことにも従う	『サヒーフ・ブハーリー』7144	サヒーフ
「髪は乱れ……」	『サヒーフ・ムスリム』2622	サヒーフ

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

人物・場所・年表

人物	役割
ムーサー・ブン・ヌサイル	イフリーキヤ総督、ターリクの主人であり指導者
タリーフ・ブン・マーリク	最初の偵察隊の指揮官（91年）
ユリアヌス（ユルヤーン）	船を提供したセウタの領主
ロデリック（ルズリーク）	ワーディー・ラッカで敗れた西ゴート王
ムギース・アッ＝ルーミー	コルドバを開いた指揮官
ワリード・ブン・アブドゥルマリク	征服当時のウマイヤ朝カリフ
アブドゥルアズィーズ・ブン・ムーサー	ムーサーの後の総督、トゥドミール条約

場所	出来事
タンジャ（タンジール）	ターリクが総督となる
タリファ	タリーフの偵察隊の上陸（91年）
ジャバル・ターリク（ジブラルタル）	ターリクの上陸（92年）
ワーディー・ラッカ（グアダレーテ）	ロデリックとの戦い
コルドバとトレド	開かれた町
ダマスカス	ターリクの召還（95年）

年	出来事
86〜90年ごろ	ムーサーがマグリブを征服、ターリクがタンジャ総督に
91年	タリーフ・ブン・マーリクの偵察
92年ラジャブ月	ターリクがジャバル・ターリクに上陸

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
92年ラマダーン月	ワーディー・ラッカでの勝利
92年末	コルドバとトレドが開かれる
93年	ムーサー・ブン・ヌサイルがアンダルスへ渡る
95年	ムーサーとターリクがダマスカスへ召還される
102年ごろ	ターリク死去（不確か）

ターリクについてのよくある質問

この章では、ターリク・ブン・ズィヤードについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にし、詳細はこれまでの章にあります。

1. ターリク・ブン・ズィヤードとは誰ですか。

ヒジュラ暦 92 年（西暦 711 年）にアンダルスを開いたムスリムの指揮官で、ムーサー・ブン・ヌサイルのマウラーです。

2. ターリクはアラブ人でしたか。

最も広く知られた見解ではベルベル人です。ペルシア系、アラブ系とする伝承もあります。

3. ジブラルタルという名はどこから来ましたか。

アラビア語のジャバル・ターリク、「ターリクの丘」からです。

4. ターリクの軍はどれほどでしたか。

最初は約 7,000、ムーサーの援軍の後は約 12,000 でした。

5. ターリクは船を焼きましたか。

この話は初期の典拠に見当たらず、確かではありません。

6. 「海は背後に」の演説は真正ですか。

『ナフフ・アッ＝ティーブ』など後代の書物に収められており、信頼できる伝承経路では確かめられません。

7. 主な戦いはどこで行われましたか。

ヒジュラ暦 92 年ラマダーン月、ワーディー・ラッカ（グアダレーテ）です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. アンダルスの住民はどのように扱われましたか。

多くの町が、トゥドミール条約のように信仰・教会・財産を保証する和平条約によって降伏しました。

9. ソロモンの食卓の話とは何ですか。

トレドで見つかった貴重な卓で、ターリクは自分が見つけた証拠として脚を一本保管しました（歴史上の伝承）。

10. ターリクはなぜアンダルスを去りましたか。

ヒジュラ暦 95 年、カリフ、ワリード・ブン・アブドゥルマリクにダマスカスへ呼び戻されたためです。

11. ターリクはいつ亡くなりましたか。

確かには知られておらず、ヒジュラ暦 102 年（西暦 720 年）ごろとされます。

12. ターリクの物語の最大の教訓は。

イスラームは人を家柄ではなく敬虔さと行いで尊ぶこと、そして誠実さは名声より長く残ることです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

ターリク・ブン・ズィヤードの物語は、タンジャのベルベル人のマウラーに始まり、ダマスカスでほとんど忘れられた一人の男で終わります。その間に、一つの大陸がイスラームに開かれました。

教訓	ターリクの物語から
敬虔さによる尊さ	ベルベル人のマウラーが軍を率いた（部屋章 49:13）
指導者への服従	「たとえアビシニア人の奴隷でも……」
敵を前にしての忍耐	「敵との遭遇を望んではならない……」
数は決め手ではない	「どれほど多くの少数の軍勢が……」（雌牛章 2:249）
戦いの作法	女性と子どもを殺すことの禁止
財産における誠実	ソロモンの食卓と横領への警告
名声なき誠実	「髪は乱れ……」
典拠への誠実さ	確かでない船焼きと演説の話

私たちがターリクに倣うことができますように。宗教のために勇気をもって踏み出し、指導者に従い、預かりものを守り、人に知られずとも誠実であることを。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、イスラームのもう一人の英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン体の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（雌牛章 2:249；イムラーン家章 3:200；戦利品章 8:45；部屋章 49:13）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』3015、3074、7142、7144。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1742、2622。sunnah.com/muslim

イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と伝記

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』。

イブン・アル＝クーティーヤ『アンダルス征服史』。

イブン・アル＝アスィール『完史』。

イブン・イザーリー・アル＝マッラークシー『マグリブ情報の書』。

イブン・ハルドゥーン『イバルの書』。

マッカリー『ナフフ・アッ＝ティーブ』。

Wikipedia「Tariq ibn Ziyad」。en.wikipedia.org/wiki/Tariq_ibn_Ziyad

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 15 巻：ウクバ・ブン・ナーフィウまで。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません。**研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience